



看取りの文化を構想する

□ オンライン開催
死生学研究所ホームページから
お申込みください

□ お申込み締め切り
2023年7月26日(水) 17時

□ 先着 100名様

□ お問い合わせ 死生学研究所 shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp □ 参加費 無料

第4回連続講座

加賀谷真梨

(かがやまり)

新潟大学
人文学部准教授

7月29日(土)

16:20-17:50

生まれ島の住み慣れた家から

旅立つために一沖縄・池間島を事例に

■プロフィール

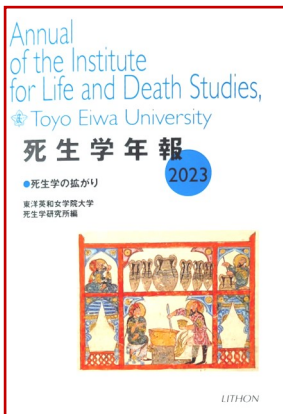
専門は民俗学・文化人類学。沖縄の島嶼社会をフィールドとして、ジェンダー、記憶、高齢者ケア、共同体をテーマに研究を行っています。

■主要業績

- 1) 「地域福祉が変える死のかたち—沖縄・波照間島での実践を事例に」『比較家族史研究』第35号,2021
- 2) 「家族と地域が重なり合う場—沖縄の離島における小規模多機能型居宅介護」『ケアが生まれる場：他者とともに生きる社会のために』、ミネルヴァ書房,2019
- 3) プロセスとしての〈共同体〉—沖縄・波照間島の「戦争マラリア」をめぐる語りを事例に—『民衆史の遺産 第14巻沖縄』,大和書房,2019

内容紹介：

2000年の介護保険法施行を契機に多くの離島からなる沖縄では、ある地域では内発的に、別の地域では外部からの働きかけを契機に高齢者ケアの仕組み作りが行われてきました。この回では〈看取りの文化〉をその土地に合った理念として作り上げていくものとして捉え、沖縄・池間島での実践に着目します。池間島では島出身女性らが2006年より小規模多機能型居宅介護事業を立ち上げ、実に多様な人、モノ、コトを動かしながら活動を展開してきました。全国的に著名な事業所になった一方で、自分たちの活動は時限付きだと言います。そうした言葉の真意をシマの暮らしの変遷に着目しながら考えていきます。



東洋英和女学院大学死生学研究所編

死生学年報2023

「死生学の拡がり」

◆書店にて定価2,500円+税でご注文、ご購入いただけます

◆お問い合わせ 東洋英和女学院大学 死生学研究所
shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

<予告>

◇第5回〈公開〉連続講座 2023年9月30日(土) 16:20~17:50

松繁卓哉(国立保健医療科学院)

お申込みはこちら

